

知的・発達障がいの特徴を知ってもらい種まき活動の機会をいただきましたこと、紙面を通して関係者の皆さまに感謝申し上げます。

立川キャラバン隊「ひこうき雲」公演報告

ありがとう
ございました

理解啓発委員会 委員長 水野夏美

★8月25日開催 英会話教室に通う生徒さんや保護者、先生方への公演報告
～ECC ジュニア秋津駅南教室、ユニキッズ教室、ブライドキッズ教室、3教室合同～

5月の学校法人クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパンでの公演に続き、その流れで私の次女が特別支援学校高等部時代の担任であったF先生の娘さんが通う英会話教室より公演のご依頼をいただきました。今回はF先生がいっしょに参加したいという熱いうれしいご希望もあり夏休み中の開催となりました。英会話教室の先生方も感染拡大が止まらない中で様々なご心配や不安もあったことと思いますが、「この公演の機会を逃したくない。子どもたちに大事なことを学んでほしい。」という前向きなお気持ちで感染防止対策を熟慮され、東村山市市民ステーションサンパルネの広いホールを予約して下さいました。少人数でソーシャルディスタンスをとりながらの開催でしたが終始、笑いあり和やかに行えました。知的・発達障害児・者への接し方は、わかりやすく簡単な言葉で、やさしく、ゆっくり等が基本ですが、小さいお子さん、ご家族やお友だち同士、ご高齢や認知症の方など、誰にでも当てはまるコミュニケーション方法です。言葉にすると簡単ですが、温かい声掛けは案外、身近な人にはできないものです。日頃の接し方や行い等を振り返る良い機会にもなったようです。F先生、英会話教室の先生方、ご参加いただきました皆さま、心よりありがとうございました。



言葉が不自由の体験

以下、参加者からの感想です。

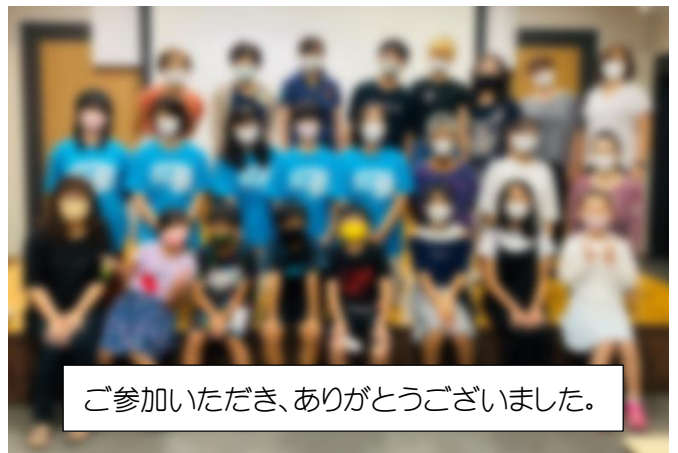
障害について今まであまり関わらないものだと思っていました。ですが障害のことを常に考えて困っていたら助けてあげると言うことが大切なんだと感じました。障害を持っている人も持っていない人も1人の人間としてみるのがいいなと思います。困っていたら助けて、できなかったらやってあげて自分で頑張ってるやっていたら、しっかりと見守ってあげたらいいなと思います。



ペットボトル眼鏡体験

本日はありがとうございました。体験を通して不自由さだけでなく周りの人の言動によってプレッシャーや不安焦りを感じるということを実感しました。障害に関係なく、人には得意不得意があるので人との接し方を見直すきっかけになりました。最後の物語(二つの鬢)も深く心に残りました。この公演を聞いて良かったです。

楽しい体験の中で深いことを学ばせていただきました。障害のある人に対してだけでなく弱さのある人にこのように思いを持つことを改めて教えられました。人は弱さがあるからこそ強いのですね。お互いが助け合う良い関係を持てる社会をつかっていきたいです。教室の子供たちにも伝えたいと思います。パラリンピックもしっかり見ていろいろなことを感じ学ぶべきですね。ありがとうございました。素晴らしい公演でした。



ご参加いただき、ありがとうございました。